学校と博物館をつなぐ情報誌 No.265(令和7年4,5月号)



# 



しんねんど はじ こんねんど はくぶつかん じゅうじつ てんじ たの きかく よてい みなさま らいかん 新年度が始まりました。今年度も博物館では、充実した展示や楽しい企画を予定しています。皆様のご来館を こころ 心よりお待ちしています。

かこさとし×いのちのたび博物館

## 春の特別展 絵本でたどるいのちのふしぎ展 絕替開催中!!

令和6年3月16日(土)~令和6年5月6日(月·振休)





特別展展示室の様子

かこさとしさんは、多くの 科学絵本も手掛けています。 その絵本と博物館の標本をつ なぐ特別展です。会場にある 絵本コーナーも大人気です。 ぜひ、みなさんでお越しくだ

さい。





## 発生、ちょっと聞いて



博物館では、「勾玉づくり」以外にも歴史学習と関連したプログラムがあります。

## ① 古代の鏡づくり (対象 5年生以上)



北九州市小 倉南区から出 土した銅鏡をも とに、ミニモデ ルを作ります。





合金を溶かす 鋳造方法で、飛 鳥時代の和同開 珎(レプリカ)を再 現します。



## 恐竜と鳥が大空を飛んだ時代

があることがわかると思います。多くのじゅうきゃくるいの化布から羽毛のあとが見つかってい て、恐竜にはウロコがあったものと羽毛があったものがいたことがわかっています。

1996年に初めて羽毛がある恐竜(羽毛恐竜)の化石が中国で見つかりました。シノサウロプ テリクスという恐竜です。今生きている動物で羽毛があるのは鳥だけなので、恐竜にも羽毛があっ たことは大きな発見でした。96年以降、じゅうきゃくるいで羽毛恐竜の化石がたくさん見つかり、 骨の形や骨格の特ちょうがくわしく調べられ、羽毛恐竜の仲間から鳥が進化したことがわかってき ました。

もっとも古い鳥の仲間とされる始祖鳥(アーケオプテリクス)は今から約1億5000万年前に 生きていました。この時代は中生代ジュラ紀の終わりごろで、すでに恐竜から鳥が進化していただ ろうとされています。ジュラ紀の次の時代、白亜紀には多くの鳥の仲間がいたことが化石からわか っています。白亜紀は恐竜がはんえいした時代で、多くの羽毛恐竜もいました。つまり恐竜から進化 した鳥と、羽毛恐竜が白亜紀にはいっしょに生きていたということです。羽毛恐竜の中には、体も 小さく空を飛べる仲間もいたことが化石からわかっているので、当時の大空には鳥と認識が 飛びあっていたかもしれません。そして、約6600万年前に羽毛恐竜をふくむ恐竜はぜつめつし てしまいました。一方、鳥はいなくなった仲間もいましたが、次の時代に生きのびることができま した。同じように羽毛があったにもかかわらず、どうして恐竜はぜつめつし、鳥は今も生きている

のかはまだわかっていません。



画像 1





画像1キャプション:羽毛恐竜ミクロラプトルは、後ろあしにも翼があります。

画像2キャプション:映画でも有名なヴェロキラプトルも羽毛恐竜です。 画像3キャプション:デイノニクスにも羽毛があったと考えられています。

自然史課学芸員 大橋 智之